

大会参加の皆様へ

参加にあたっての確認事項

1. 参加者の遵守事項について

- 競技規則、運営・管理上の規定および交通規則を遵守すること。
- 常にスポーツマンシップとしての言動を保持すること。
- 常に安全で整備された自転車を用いて大会に参加すること。
- 大会中に引き起こした事故について、競技者が一切の責任を負うこと。
- 大会の負傷等については、応急処置は主催者で行うがその後は参加者の責任・費用負担とする。
- 参加競技者は、必ず各自で傷害保険（スポーツ安全保険等）に加入すること。
当日、健康保険証を必ず持参すること。

2. 使用する自転車について

- （公財）日本自転車競技連盟競技規則に記載の自転車規格に調整のうえ、参加してください。
- 自転車はロードレーサーでフリーホイール式のもの。ハンドルバー・エクステンション（DHバー）は使用できない。
- 高校生はジュニアギア比制限 7.93m とする。
 - データ、情報または映像を収集または送信する能力をもつ車上テクノロジー機器（テレメトリー、トランスポンダユニット、GPS ユニットおよび GoPro やビデオカメラ）は取り付けないものとする。

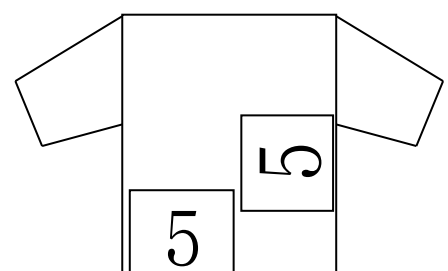
3. 競技者の装備

- ジャージは袖付のもの、パンツは膝がでる短いものを着用する。ワンピース形式も認める。
- レッグウォーマー、タイツ、アームウォーマーの使用は原則禁止とする。靴下とオーバーシューズは踝の中心と腓骨頭中心の間の半分の距離によって定義された高さ以上に及んではならない。
- レース中はジャージの表示やゼッケンを隠すような衣類を着用してはならない。雨具は透明あるいはジャージと同じ外観のものを使用すること。
- レース中のみならず、練習中もヘルメットの着用を義務付ける。また頭部保護のため、あご紐を適切な長さに調整して締めること。ヘルメット JCF 公認ヘルメット、もしくは JKA 認定品（競輪用）を装着すること。エアロヘルメットは使用不可。破損、ひび割れ、劣化しているもの及び公認シールのないものは使用できない。

4. 受付

- 高城ふれあいセンター前において 8:00~8:45 に行う。
- 受付で、ゼッケンもしくはヘルメットカバーを受け取り、ユニホームまたはヘルメットに装着すること。
- ゼッケンを使用する。受付時に配布するので、折り曲げる等の加工を行うことなく装着すること。
- ゼッケンは、右図のように右側は右から読めるように背中に横向きに、左側は後方から読み取れるように腰部に縦につけること。
- ゼッケン区別

Aクラス：黒文字×白地 Bクラス：青文字×白地 Cクラス：赤文字×白地



5. スタート

- スタート地点は高城保育園入口前付近とする。
9:00スタートの第1レースは、前方にBクラス、後方にCクラス選手が、8:55までに整列する。
10:00スタートの第2レースのAクラス選手は、第1レース終了後9:55までに整列する。
その際、選手どうしの間隔を1m以上あけて整列すること。整列時は必要以上の会話を避けること。
また、スタート3分前までマスクを着用すること。
- スタートは号砲で合図し、一斉スタートとする。

6. フィニッシュと計時について

- 計測チップおよびビデオによるタイム計測と着順判定を行う。
- 計測チップはレース終了後、受付場所へ返却すること。返却しなかった場合、実費を請求する。

7. レースからの除外

- 高城保育園入口のフィニッシュラインを関門とし、制限時間以内に通過できない場合レースから除外する。
- 制限時間目安は、10分程度(2周)とする。
- 先頭競技者がフィニッシュした時点で、他の競技者もその周回で最終となる。周回遅れでフィニッシュした際、時差をつけて順位をつける。

8. 補給・機材交換

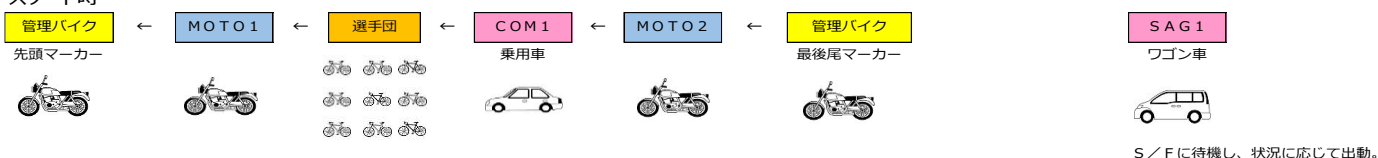
- 故障時の機材交換は、競走者同士またはふれあいセンター前でのみ認める。
- 競走中の飲食料の補給は認めない。また、飲食料の容器、ボトル、衣類など投げ捨てないこと。
- ガラス製容器の携帯および使用は認めない。

9. 競技の中断・中止

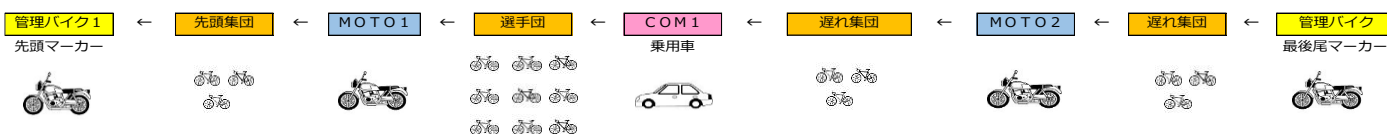
- 警報レベルの悪天候になる場合、やむを得ず、中断もしくは中止とすることがある。
- 天候の急変、救急搬送、火事等の災害が発生した場合には、ニュートラル、一時中断、競走中止等の処置を行うことがある。

10. 移動審判車列図

スタート時



レース展開



11. 表彰式

- 表彰式は、準備が整い次第、ふれあいセンター前で行う。悪天候の場合は、実施しない。

12. 個人情報の取り扱いについて

- 参加申込書に記載された個人情報は、資格の確認及び大会にかかる諸連絡を行うほか、氏名、生年月日、所属、競技成績、競技歴、写真等をポスター、プログラム、コミュニケ等で掲載するなど、新聞社等マスコミ関係に情報を提供し、新聞等メディアに掲載される場合がある。大会の映像、写真、記事、個人記録などが新聞、テレビ、雑誌、インターネットに掲載されることがあるが、その権利は主催者に属することを了承してください。

鳥取県高等学校体育連盟主催大会における

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン（一部抜粋）

2. (1) 選手・監督、コーチ等が遵守すべき事項 【全般事項】

(1) 大会参加前	<ul style="list-style-type: none"> ① 大会2週間前から検温結果及び体調について「体調管理表」（鳥取県教育委員会の様式（様式1））に記録し体調管理に努める。 ② 大会参加にあたっては、生徒・保護者から同意書を得る。 ③ 当日の参加者の名前、連絡先、体調を記録し、大会後の感染発生時に備えて1ヶ月以上保管する。 ④ 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加校の責任により当該生徒の参加を見合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ア 体調が良くない場合 （平熱以上の発熱や風邪の症状等がある場合など） イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 ウ 濃厚接触者である場合 エ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合 ⑤ マスクは参加者が持参する。使用済みのマスク等は全てのごみとともにビニール袋に入れて持ち帰る。 ⑥ 消毒用アルコールは各参加校で準備し、使用用具の消毒を実施すること。また、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと。手拭き用のタオルを持参すること。 ⑦ 大会中に大きな声での会話、応援をしない。 ⑧ ミーティングは、3つの密を回避し短時間での実施とする。 ⑨ 保護者に対して、当日の入場に制限があることを周知・徹底する。 ⑩ 参加者が大会終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する。 ⑪ 主催者が示す感染拡大防止対策を遵守し、主催者の指示に従う。
参加者提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生 <ul style="list-style-type: none"> ① 大会2週間前「体調管理表」（様式1） → 個人で記録、チームで保管 ② 体調チェックシート（様式2） → 学校単位で提出 ・一般、小中学生 <ul style="list-style-type: none"> 大会2週間前「体調管理表」（様式1） → 個人で記録し保管 ③ 健康状況申告フォームおよび大会参加同意書 専用フォームから記入し、送信
(2) 受付時	<ul style="list-style-type: none"> ① 参加者は検温を行う。 ② 参加者はマスクを着用する。 ③ 参加者は、大会当日「体調チェックシート」（様式2）を提出する。 または、専用フォームの入力を行う。 ④ 受付付近では、最小限の会話やソーシャルディスタンス（概ね1～2m）の確保に努める。
(3) 待機中 ウォーミング アップ時	<ul style="list-style-type: none"> ① 参加者は必ずマスクを持参し、スポーツを行っていない待機中や会話をする際はマスクを着用する。天候条件により、息苦しさを感ずるようであれば、マスクを無理に着用しない。 ② 参加者は、個人間の距離（できるかぎり2m以上）を確保して待機する。 ③ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。 ④ ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。 ⑤ 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。 ⑥ タオルの共用はしないこと。 ⑦ 選手は指定された待機場所を利用し、個人間の距離を確保して過ごす。

	<p>⑦ 更衣室は、1回にご利用できる人数は1名とし、換気をしながら使用する。</p> <p>⑧ トイレ使用時はふたを閉めて汚物を流すようにし、手洗いは石けんを用い30秒以上しっかり手指を洗浄すること。</p>
(4) 試合中または試合後	<p>① 監督、コーチ、選手、運営スタッフは必ずマスクを着用する。</p> <p>② 監督がインフィールドから指示を行う際は決められた種目において認めるが、マスクを着用とすること。</p> <p>③ 選手は、ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。</p> <p>④ 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。</p> <p>⑤ チームサポートは選手や機材の接触を極力避け、必要時は手袋を着用して行なう。</p> <p>⑥ 運動時、またそうでない時も周囲の人と距離を空けること。</p> <p>⑦ 試合中、選手どうしは前走者の人の呼気の影響を避けるよう、位置取りに注意する。</p> <p>⑧ 試合中、選手は唾や痰をはくことを極力しない。</p> <p>⑨ 試合中、選手、監督、コーチは大きな掛け声、応援等をしないこと</p> <p>⑩ 落車事故発生時は、感染防止対策をして担当の競技役員、救護の医師・看護師が対応にあたる。開閉会式・表彰式を実施する場合は密集とならないよう、参加人数を制限し速やかに執り行う。</p> <p>⑪ 参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。</p> <p>⑫ ミーティングなどにおいて、長時間密にならないように配慮する。</p>
(5) 飲食等	<p>① 飲食は指定の場所以外で行わず、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話をなるべくせず、速やかに食事をする。</p>

2. (2) 選手・監督、コーチ等が遵守すべき事項 【競技運営事項】

競技中	<p>① 選手・機材の接触は極力避け、必要時は手袋着用して行なう。</p> <p>② ヘルメットカバーは、使いまわしをせず、回収して洗濯・乾燥し再使用する。</p> <p>③ スタート前までマスク着用する。トラックはインフィールド待機中、ロードはスタート3分前まで着用する。(ただし、熱中症、呼吸困難に注意)</p> <p>④ 選手控え所でウォームアップする際は、選手同士の間隔を十分に取って行うこと。</p> <p>⑤ インフィールドに入る付添いの人数は、選手1人につき2人以内とする。</p> <p>⑥ チームサポートは選手や機材の接触を極力避け、必要時は手袋を着用して行なう。</p> <p>⑦ 機材等は共用しない。やむを得ず共用する用具については、身体が頻繁に接触する箇所を消毒する。</p> <p>⑧ 落車事故発生時は、感染防止対策をして担当の競技役員、救護の医師・看護師が対応にあたる。</p> <p>⑨ ロードにおいては、サインシートを省略し、当日受付をもって出走確認する。</p> <p>⑩ 補給にあたっては、マスクおよび手袋着用、補給者同士の距離確保等に努めて行なう。</p>
-----	---